

第3期区民会議からの提案 ～宮前区を「住む」から「暮らす」まちへ～

3月に山下浩委員長から区長に第3期区民会議の提案を報告しました。提案では、宮前区の地域特性を活かしながら、区民が地域への興味を持ち、地域を楽しみ、参加するなど「暮らす」を実践してもらうための方策が打ち出されました。

坂道を活かした地域コミュニティの活性化に関する提案と取組

宮前区の特徴である坂道を活かし、まちの魅力づくりや健康づくりなどにつなげるための取組を提案しました。

提案1：宮前区の坂道を知ってもらおう！

～みやまえ坂道ウォークの作成～

坂道の魅力を広く紹介するとともに、坂道の起伏を利用した健康づくりについての情報をまとめたガイドブックを作成します。



提案2：坂道を使ったイベントをしよう！

～坂道ウォーキングイベントの開催～

区内の坂道への興味を引き、楽しんでもらうとともに、日常的な健康づくりにつなげるため、坂道を活用したイベントを開催します。



平成24年度の取組予定

●8月
「みやまえ坂道ウォーク」を刊行

平成24年度の取組予定

●5月から
フロントاونさぎぬま(宮前区土橋3-1-1)で、「坂道もらくらウォーキング教室」を開講

コミュニティへの参加を促す雑誌と情報戦略に関する提案と取組

幅広い意味で「地」域の産物を活かし、地域の魅力を「知」り、地域社会への「参」加につなげ、「笑」顔の広がるまちにしていこうための取組を提案しました。

提案1：宮前区の魅力や楽しみ方を発信しよう！

～地域コミュニティへの参加を促す雑誌の作成～

転入者や川崎都民が、興味を持って読んで実際に参加してみたいくなるような、魅力的でワクワク感のある雑誌を作成します。



提案2：宮前区の地域情報を戦略的に発信しよう！

～「みやまえ情報サポーターズ」の結成～

さまざまなメディアを使いながら、宮前区の魅力的な地域情報を区民の目線から継続的に発信する仕組みをつくります。



平成24年度の取組予定

●12月
「地域コミュニティへの参加を促す雑誌」を刊行

平成24年度の取組予定

●5月から
宮前市民館で「みやまえ情報サポーターズ養成講座」を開講

宮前区区民会議フォーラムを開催しました！

3月24日(土)に区役所にて、第3期区民会議の締めくくりとなる「宮前区区民会議フォーラム」を開催しました。「宮前区を『住む』から『暮らす』まちへ」について、事例発表、意見交換を行いました。喜楽亭笑吉氏(社会人落語家)による落語、第2期区民会議の提案事業である「みやまえカルタ」、「冒険遊び場」についての展示等を行いました。



事例発表

原田氏からは「タウン紙記者が語る宮前区の魅力」、齊藤氏からは「東日本大震災への支援」というテーマで事例発表がありました。



タウンニュース川崎支社社長
原田一樹氏

・県外からの流入が多いのは、区外に対するブランドづくりができていているということ。都市部の住宅地でこれだけ農が充実しているのは大きな魅力のひとつ。
・今あるものを活かすことも大事だが、新しいものをつくっていくことも大事。さらにそれを住んでいる人たちにいかに知ってもらいかも大事。それがうまくできれば、区内に向けたブランドづくりもできる。

・宮崎台公務員住宅に開設したひまわりサロンでは、東日本大震災の避難者に必要な情報や物資の提供などの支援を行うこと、避難者同士および避難者と地域の交流を促進し、避難者の孤立を防ぎ、通常の生活が送れるよう支援することを目的にしてきた。
・今後の課題は、宮前区の各地に避難された方の孤立を防ぎ、支援を広げていくこと。ひまわりサロンのある宮崎台住宅を中心として、近隣の避難者が集まることできれば同じふるさとの人と会えるし、人と人がつながっていくことができる。



ひまわりサロン
実行委員長
齊藤喜信氏

意見交換

事例発表の2人に、活力づくり部会・佐藤部会長、地参知笑部会・持田部会長を加え、「住む」から「暮らす」まちにするためのアイデアについて活発な意見交換が行われました。



地域に参加するきっかけをつくる

・みんなで共有できることや楽しいことをやってみれば、地域とのつながりが大事であると感じるはず。
・いろんなきっかけの選択肢を用意してはどうか。

担い手づくり

・区の課題解決提案制度を活用し、新しい担い手が出てきてほしい。
・子どもの時から地域活動に参加すれば、大人になって地域に興味をもってくれるのではないかと。
・赤ちゃんがいて休みを取っているお母さんに地域活動に参加してもらえれば、その後活動をしなくても、また活動に参加してくれる。

近所付き合いが大切

・隣組という言葉があるが、小さな単位での近所付き合いがないと「暮らし」につながらない。
・孤独を生まないための情報提供が必要。

区民会議の取り組みについて、皆様のご意見をお待ちしています。